

シンポジウム | 特別講演

支部組織・地域医療福祉シンポジウム

後期高齢者歯科健診を円滑に展開するために：オーラルフレイル・口腔機能低下症を地域で支えるシステム作り

座長:平野 浩彦(東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科)、糸田 昌隆(大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科／大阪歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科)

Sat. Jun 23, 2018 10:50 AM - 12:00 PM 第2会場 (1F 小ホール)

【平野 浩彦先生略歴】

日本大学松戸歯学部卒業 医学博士

1990年 東京都老人医療センター歯科口腔外科研修医

1991年 国立東京第二病院口腔外科研修医

1992年 東京都老人医療センター歯科口腔外科主事

2002年 同センター医長 (東京都老人医療センター・東京都老人総合研究所の組織編成により東京都健康長寿医療センターへ名称変更)

2009年 東京都健康長寿医療センター研究所専門副部長

2016年 東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長

日本老年学会理事

日本サルコペニア・フレイル学会理事

日本応用老年学会理事

日本老年歯科医学会常任理事・専門医・指導医

日本大学松戸歯学部客員教授

東京歯科大学非常勤講師

昭和大学歯学部非常勤講師

東京医科歯科大学歯学部非常勤講師

九州歯科大学歯学部非常勤講師

【糸田 昌隆先生略歴】

1988年 岐阜歯科大学卒業

大阪府八尾市 歯科医院勤務

1990年 大阪歯科大学補綴学第2講座入局 (後に有歯補綴咬合学講座に改名)

1991年 わかくさ竜間リハビリテーション病院非常勤勤務

1995年 同 歯科医長

2004年 同 歯科・リハビリテーション科診療部長

2017年より現職

大阪府歯科医師会老人歯科保健推進部会オブザーバー

日本慢性期医療協会 日本慢性期リハビリテーション学会 口腔・栄養部会委員

全国老人保健施設協会学術委員会委員

日本リハビリテーション病院・施設協会医科歯科連携委員会委員

日本老年歯科医学会：広報・研修，社会保険，支部組織地域医療検討委員会各委員会委員 など

【抄録】

平成26年度の厚生労働省において75歳以上の後期高齢者医療の被保険者に係る歯科健診に対する予算が大幅に拡充された。この後期高齢者歯科健診の概要は、口腔機能低下による嚥下性肺炎等を予防するための、歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックする歯科健診を実施することとなっている。また、本歯科健診が円滑に実施できるよう、日本歯科医師会と日本老年歯科医学会の共同により例示された問診票例が広域連合に参考送付されている。その問診票例の検査項目として、歯の状態（う蝕、義歯の状況等）、口腔衛生状況、歯周組織の状況

等、咀嚼能力評価、舌機能評価、嚥下機能評価などが例示されている。

つまり本健診は、う蝕、歯周疾患などの歯の状態評価に加え、口腔機能も含めた評価が実施される内容となっており、近年注目を集めている、オーラルフレイル、さらには新たに保険収載された口腔機能低下症をスクリーニングするシステムと言っても過言ではないであろう。

本シンポジウムでは地域での本健診実施報告を通し、「高齢者の口腔機能を診る」システム作りの重要性を議論できれば幸いである。

[S8-2]後期高齢者歯科健診をどうする？ どう活かす？

○足立 融¹ (1. 鳥取県歯科医師会)

【略歴】

1984年 東京歯科大学卒業

1988年 東京歯科大学大学院修了（歯学博士）

1989年 鳥取県境港市にて、足立歯科医院後継開業

2005年 米子市にて歯科医院共同経営参加

2016年 境港市にて、あい・あだちデンタルクリニック開業

日本老年歯科医学会

全国訪問歯科研究会

日本リハビリテーション病院・施設協会

日本リハビリテーション栄養学会

西部在宅ケア研究会世話人

山陰摂食嚥下研究会世話人

日本歯周病学会（専門医）

日本ヘルスケア歯科学会

鳥取県歯科医師会理事

平成26年度から全国各地で後期高齢者保健事業による歯科健診事業が実施されている。これまでの歯科健診と異なり、介護予防事業対象者に限られていた口腔機能を中心とした健診である。鳥取県では平成28年度より実施しているが、本会としては地域歯科医療連携室を窓口として、

①多くの会員診療所が口腔機能についての理解を深め、機能健診が実施できること

②単なる健診に終わらせず、地域高齢者のオーラルフレイル予防につなげること

を目標とした。

健診を実施するにあたり、高齢者歯科口腔健診実施マニュアルを参考に健診票を作成した。また口腔機能評価に関する研修会を行い、全県域で実施する体制づくりを行った。

結果1,007名の受診者があり、うち46%が歯科に定期受診していなかった。また、食欲低下者、オーラルフレイル該当者が多く、それに伴う栄養に問題がある高齢者が多いという実態も明らかとなった。

高齢先進県の歯科医師会としての取り組みを紹介したい。